

海外安全対策情報 2022 年第 1 四半期 (1~3 月)

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 社会情勢

ア ロシア・ウクライナ情勢

ロシアによるウクライナ侵攻に関連して、ソフィア市等各地で、ロシアに対する抗議デモや、ウクライナ、及びロシアに対する支持デモが発生し、2月25日には当地ソ連兵記念碑に対する器物損壊（スプレーでウクライナ国旗色に染める）により、若者3名が警察に連行されるという事案が発生しました。

イ 新型コロナウイルス情勢

昨年10月に導入され、反対者による度々の大規模な抗議活動の対象となっていた、飲食店や各種施設の利用の際にワクチン証明書や陰性証明書等の提示を必要とする、いわゆる「グリーンパスポート」制度が、感染状況の一定の改善を受け、3月に撤廃されました。

(2) 治安情勢

ア 犯罪統計

ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にあり、2020年の犯罪総数は前年比マイナス22.1%で、2011年の約54%にまで減少しました。しかし、その一方で、日本と比較すると依然として犯罪発生率は高く、人口10万人当たりの発生件数では、犯罪総数は日本の約2倍、殺人は約4.7倍、強盗は約12.9倍となっています。

イ 不法移民統計

内務省の発表によると、2021年のブルガリア国内において検挙された不法移民は10,799人で、前年(3,487人)の3.1倍と大幅に増加しました。

ウ 交通事故統計

内務省の発表によると、2021年のブルガリア国内の交通事故発生件数は6,080件(前年比+370件)、死者数は561人(前年比+98人)、負傷者数は7,609人(前年比+488人)でした。

欧州委員会によると、2021年のブルガリアの人口100万人当たりの交通事故死者数81人で、93人のルーマニアに次いで、EU内ワースト2位です。

(3) 邦人被害犯罪の発生状況

この期間中、邦人が被害に遭った事件は認知していません。

2 テロ・爆弾事件発生状況

この期間中、テロ・爆弾事件は発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

ブルガリア国内における対日感情は基本的には良好で、日本人に対する差別行為はこれまであまり見られません。新型コロナウイルスは中国から持ち込まれたという思いや、長引くコロナ禍を背景としたストレスや不満の蓄積により、今後、中国人と日本人との混同も含め、アジア人全体に対する差別が顕在化してくるおそれがありますので、十分ご注意ください。